

選ばれる企業は、はじめてる

SDGs をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。



Pick up!

はじめています

1. 共同生活援助事業「グループホーム」の運営
2. 就労支援B型作業所の運営により継続した労働を提供
3. 障がいの内容や個々の個性によって選べる豊富な作業の種類
4. 働きやすさを考えた作業所の雰囲気づくり



りんごの木株式会社

☎ 070-3547-3975

【就労継続支援B型事業所 りんごの作業所】大津市大萱1-17-14
【共同生活援助 グループホーム りんご】大津市月輪5-32-12
【共同生活援助 グループホーム りんご2号店】大津市大江6-44-12

障がいの共同生活援助事業と、就労支援を行う「就労支援B型作業所」を運営。2つの事業を連携させることで、生活支援と労働提供の両面から支え、利用者の社会性を高めている。2024年4月には新たなグループホームをオープン予定。



代表取締役 いまむらさゆり 今村紗佑里氏

和気あいあいとした作業所の雰囲気と、利用者のイキイキとした表情が印象的。作業の対価である工賃を貰いながら自分のペースで働けるのがうれしい。



作業の間には休憩やおやつタイムを設けるなど、ゆっくりとしたペースで働くことができるのもポイント。「利用者さんに対して誠実でありたい」と心がけるスタッフの存在も安心の理由。



過去には「手作り石けん」などを作り、雑貨としてイベント販売を行ったことも。また利用者は芸術的なセンスがある人が多く、ぬり絵アートなども美しく仕上げるのだとか。



知的障がいや身体障がいのある人向けに支援サービスを行う、りんごの木株式会社。共同生活援助事業としてグループホーム2軒を運営するほか、就労支援事業では労働面でも利用者とその家族を支えている。一般企業でリタイヤしてしまったり、日々を自宅で過ごしていた人向けにオープンさせたという作業所は、毎日通いたくなるようなオフィスをイメージさせる明るい空間に。営業開始にあたり代表の今村さんは、「利用者のできることを最大限に活かして、自分のペースで働ける場を提供したい」と、軽作業や内職などの様々な仕事を準備した。

実際には利用者一人一人の個性が異なるゴールも違うことから、大変なことも多いという。それでも年齢や障がいに関係なくピュアな人が多く、一緒に過ごすのが楽しいという今村さん。「日々の小さな成長がやりがいですね。彼らは人を見抜くチカラ」が高いと感じる場面が多々あり、難しさを感じることもありますが、だからこそスタッフみんなにはごまかさずに誠実に向き合ってもらおうようにしています」と話してくれた。将来的には親が高齢になったり、亡くなったとしても、自力で生活できているのだとか。

安心して働きがいのある労働を提供
利用者の社会性を高める支援へ